

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス こすもす		
○保護者評価実施期間	2026年1月6日		2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2026年1月6日		2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月4日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちが毎回施設に来るのをとても楽しみにしており、保護者からの信頼度・安心度が高く、安心して預けられている。	・子どもがやりたい遊びを自由にやらせてもらい遊びのびのび過ごしてもらっている。iPadを使用したりと幅広い遊びを提供している。	・新しい玩具や室内遊具みたいな物を購入しさらに楽しく活発に遊べるようにしていく。iPadを楽しく学べるツールとして活用したいと考えており動画以外の知識が得られるようなアプリも入れて対応していきたい。(漢字を学べたり数字のアプリ等)
2	・子どもたちや保護者のニーズにもしっかり応えられるように配慮している。	・困りごとがあった際にはその都度、子どもや保護者の方と面談を設けている。その内容を職員間でしっかり周知し職員1人で悩まずチームとなって一緒に考え対応している。	・すべてのニーズには答えられないこともあるが、少しでも力になれるよう、職員は日々の勉強や研修会参加によって知識を高め支援のスキルアップを図っていく。
3	・子どもたちの日々の様子や小さな出来事であっても保護者に連絡し周知している。	・連絡帳アプリを使用し、写真や動画ですぐ送れるようにしている。	・職員の連携をさらに高めていく。(1人で悩まずこれくらい大丈夫と思わず必ず周りの職員に相談して判断する)その為にも日ごろから職員間のコミュニケーションをより円滑にしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・不登校児をお預かりするのが現状難しい。	・不登校児をお預かりする事は可能だが、職員の配置が難しく出来ない状況になっている。	・職員の配置を考え、保護者とも連携して例えば朝からではなく午後から利用や保護者の送りをしてもらうなどの対応をしていく。
2	・子どもがやりたい遊びを中心とした療育をしているので、学校の宿題や勉強を教えることが現状難しい。	・施設の構造的に勉強スペースがなく、集中して勉強をする事が難しい。	・勉強する時だけ使用するテーブルと仕切り(カーテン等)を用意して、視覚的に子供が集中しやすい環境を作って対応していく。
3	・夏休みなどの長期休みのイベントで、利用日以外の子どもが参加する事が現状難しい。	・職員の人数の関係上、利用日以外の児童が参加した場合の配置が難しい。	・キャンセル利用という形で利用したり、他事業所から職員のヘルプ要請をしたり、合同でのイベントとして企画し職員の人数を確保して対応していく。